

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成22年10月14日(2010.10.14)

【公表番号】特表2010-502458(P2010-502458A)

【公表日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-004

【出願番号】特願2009-526795(P2009-526795)

【国際特許分類】

| | | |
|---------|--------|-----------|
| B 2 4 D | 3/06 | (2006.01) |
| B 2 4 D | 3/00 | (2006.01) |
| B 2 4 B | 53/12 | (2006.01) |
| H 0 1 L | 21/304 | (2006.01) |
| B 2 3 D | 61/18 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|---------|--------|---------|
| B 2 4 D | 3/06 | Z |
| B 2 4 D | 3/00 | 3 2 0 B |
| B 2 4 D | 3/00 | 3 3 0 D |
| B 2 4 B | 53/12 | Z |
| H 0 1 L | 21/304 | 6 2 2 M |
| B 2 3 D | 61/18 | |
| B 2 4 D | 3/00 | 3 1 0 C |
| B 2 4 D | 3/00 | 3 1 0 F |
| B 2 4 D | 3/00 | 3 4 0 |

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月30日(2010.7.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

研磨物品であって、

(a) 第1表面及び第2表面、並びにそれらの間の空隙を有する、金属箔と、

(b) 実質的に前記箔の前記第1及び第2表面との間の前記空隙中の複数の研磨粒子と、

(c) 前記研磨粒子と前記箔との間に少なくとも部分的に存する合金と、を含み、

前記合金が、前記研磨粒子付近で第2構成要素と前記金属箔の一部を含む、研磨物品。

【請求項2】

前記研磨粒子が超砥粒であり、任意に前記超砥粒がコーティングされている、請求項1に記載の研磨物品。

【請求項3】

請求項1に記載の第1層および任意に第2層を備える、多層研磨物品。

【請求項4】

請求項1に記載の第3層が、前記第1層と前記第2層との間に置かれている、請求項3に記載の研磨物品。

【請求項5】

前記層状の研磨物品が、支持体上の目立たない(discreet)領域に提供される、請求項

1に記載の研磨物品。

【請求項6】

前記目立たない(discreet)領域が、前記支持体の対向する面上にある、請求項5に記載の研磨物品。

【請求項7】

前記目立たない(discreet)領域が、のこ刃の対向する面上にある、請求項5に記載の研磨物品。